



バラの会
松坂 昌應 議員

▼教育委員会に隠蔽体質はないか

Q 一年前に佐世保市の県立中高一貫校で高校生の殺害事件があったが、その教訓は島原市の教育現場にどのよう

A 学校と生徒とのかかわりや指導、問題事案発生時の対応、学校全体の情報共有と組織的対応、学校間の引き継ぎ、保護者や関係機関との連絡について学校現場に対し改めて指導を行った。
Q 二〇一一年に滋賀県大津市で高校生のいじめ自殺事件が発覚した。その数カ月前に、本市でも陰湿ないじめ事案が発生しており、私はその件について教育長、学校教育課長に話をした。大津事件後、再度、相談に行ったが、教育長を除く教育委員の全員がこの事実を知らなかったということがあった。情報の共有がされていなかったことについてどう思うか。
A その件については、二度目の指摘後、正式な報告を行った。現在、市長や教育委員などへ第一報を伝える体制を確立しており、定例の教育委員会で報告するようにしている。

▼図書館や体育館、島原城を指定管理にする前と後で何が変わったのか

Q 教育文化振興事業団、島原城振興協会には、天降り先との批判がある。市の職員が外郭団体に再就職することについてどう思うか。
A 仕事内容により、団体が行政経験者を歓迎しているという事実もある。一般の方の公募もしており、バランスを考えて採用していると思っている。

Q 職員が外郭団体等へ再就職した場合には在職期間を三年以内とする指針があったが、現在は五年以内が変わっている、市長は知っていたのか。
A 副市長は承知しているが、市長は承知していない。

▼プレミアム付き旅行券

Q 旅行券については、宿泊施設では販売しないとの説明が議会にあったが、実際は販売している。議会に対する裏切りだと思いがどうか。
A 登録店募集の説明会で、観光客の利便性に配慮してほしいとの意見があったため、宿泊施設でも販売している。

【その他の質問項目】
◇コンパクトなまちづくりの庁舎像
◇島原城は直営にしたほうが効率が良い



実践クラブ
生田 忠照 議員

▼国土交通省からの人事について

Q 地方創生の人材制度を活用し、国土交通省から塩野理事が派遣されたが、なぜ国土交通省の人材を希望したのか。
A 地方創生全般、コンパクトシティやジオパークを活用した観光、地域高規格道路と公共交通体系の確立などに携わっていただくためである。

Q 国は情報に基づき、地方創生計画を策定してほしいと言っている。この計画の素案は、地域経済分析システム(リーサス)を活用して作成したのか。
A 市民からアイデアを募集している段階であり、活用はこれからである。

Q 地方創生計画は立派なものだが、役所は結果について責任を取らないから結果が出ないと思う。今回の計画の責任者は明確になっているのか。
A 市長が責任者である。

Q 政府広報サイトに、「地方創生」動画大募集というサイトがあるが、南島原市や雲仙市は何本投稿しているのか。
A 確認していないが、スマホレベル

でもできるので、早速取り組みたい。

▼元気な高齢者をつくるために何が必要か

Q 病気になるらない、介護を必要としない高齢者をつくる施策が重要だと言ってきた。食事の面で、エゴマ栽培や薬草関連プロジェクトとして、製薬会社の誘致に期待しているが、進捗状況はどうか。
A 地域経済循環創造事業交付金の交付申請を八月末に行っており、事業が採択された後、事業に着手したい。

Q 散歩しながらトレーニングできる環境整備が必要だと提案したが、器具を購入すると高い。市内の業者で製作し設置すれば、公共工事が市民の健康増進、医療費の削減につながる島原モデルになると思うがどうか。
A 特殊な器具を島原でつくることは不可能だと思うが、簡単なもので、それが高齢者の健康維持につながるようなものであれば不可能ではないと思う。

Q 現在の緊急通報システムでは、誰も来てくれないがどう思うか。
A 顔が見える対応は安心度が高いため、効果的であると考えている。

【その他の質問項目】
◇ガマダス花火大会について